

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会
(施設名) インターワーク

目 次

I	はじめに	1
II	全体状況報告		
	1, 重点項目（目標）に対する報告及び考察	1
	2, 利用者状況	1
	3, 実習受入等	1
	4, 行事等	2
	5, 職員状況（人員、資格取得、研修等	2
III	個別事業報告		
	1 各事業		
	(1) 事業の取組み	3～6
	(2) 課題・次年度への提起	6
	2 防災・防火訓練報告	6

I はじめに

利用者の方々の高齢化・持病の悪化や能力の低下などにより、より一層利用者のニーズに応じていくことが必要になってきた。その為、利用者のニーズをよく聞き個別支援計画を立て、そのプランに沿い利用者の方々に満足していただける支援を考えていった。今までどんな支援が足らなかったのか、これからどんな支援をしていかなければならないかを考える一年となった。

支援を行う為に必要となる、職員間の連携がまだ満足に出来ていないため日中事業や生活の場であるグループホーム・ご家族や取引先との更なる連携が必要である。

II 全体状況報告

1. 重点項目（目標）に対する報告及び考察

前年度に掲げた重点項目に関する報告としてまず始めに、利用者のニーズをしっかりと聞き信頼関係の構築を図るという点では、掲げた目標に近づけた。

5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の展開では、作業後の清掃や片付けの徹底を行ってきた。まだ不十分な部分もあるため継続して行っていく。

2. 利用者状況（平成29年3月末現在）

生活介護事業は、増減なしの4名。支援学校からの見学はあったものの、新規利用には至らなかった。就労継続支援B型事業は、退所者3名の新規2名で1名の減員となった。新規利用はあったが定員25名に満たなかったのが現状であるため更なる働きかけが必要である。

・利用者状況

サービスの種類	定員数	利用者数	利用可能数	年間平均利用率
就労継続支援B型	25名	18名	7名	93.1%
生活介護	6名	4名	2名	74.9%

3. 実習受入等

施設見学は複数回あるが、平成29年度の実習受入はなし。

4. 行事等

インターワークの主な行事は以下の通り。また、平成29年度より各月事に誕生日を迎えられた利用者の方と一緒に外出する、食事会の開催を行った。利用者に好評で次年度も継続して行っていく。

・主な行事等

期日	参加研修及び講習会
4月14日	花見（バーベキュー）
12月22日	クリスマス会
2月3日	節分
各月ごと1回	誕生会

5. 職員状況（人員、資格取得、研修等）

施設業務に関連した専門知識の向上、習得を図る為授産施設協議会及び社会福祉協議会が主催する各種講習・研修会へ参加した。又、社会福祉に関する法令等に関する施設内職員研修も行った。

・主な参加研修会及び講習会

期日	参加研修及び講習会	参加人数
5月31日	熊本県社会就労センター協議会施設長会議	1名
7月27日～28日	全国社会就労センター総合研究大会	2名
8月28日～29日	熊本県相談支援従事者初任者研修	1名
12月13日	熊本県社会就労センター協議会施設長会議	1名
12月26日	サービス管理責任者研修（共通講義）	1名
2月8日～9日	サービス管理責任者研修（就労）	1名
2月15日～16日	サービス管理責任者研修（介護）	1名
3月12日	熊本県社会就労センター協議会施設長会議	1名

Ⅲ 個別事業報告

1 各事業

(1) 事業の取組み

福祉事業報告

福祉事業収入について

昨年度より1名の減員となっているため、給付費収入は減少している。
次の表はインターワークでの自立支援給付費の過去3ヶ年の比較である。

3ヶ年収入推移【平成27年度～平成29年度】

	介護給付費	訓練等給付費	自立支援給付費合計
平成27年度	8,701,060	31,705,991	40,407,051
平成28年度	8,046,890	27,196,077	35,242,967
平成29年度	7,629,980	27,740,920	35,370,900

就労支援事業報告

本年度は、利用者の方々のニーズに沿い新しい作業への挑戦を行い個々のレベルアップに取り組んだ。施設外での作業に出る人員が増え作業の効率も上がり売上や工賃のアップに繋がっている。利用者の意欲向上も見られよいサイクルとなっている。その一方で、利用者の高齢化や能力の低下も顕著に現れてきている為、体調の見極めや日々の声かけを重点に置き支援に取り組んだ。

平成29年度利用者工賃

月	B型工賃支給総額（円）	平均工賃（円）	備考
4月	328,245	16,412	20名
5月	347,740	19,319	18名
6月	393,260	21,848	18名
7月	399,260	22,181	18名
8月	406,850	20,343	18名
9月	435,055	24,170	18名
10月	358,940	21,114	17名
11月	333,130	19,596	17名
12月	321,550	18,915	17名
1月	269,155	15,833	17名
2月	262,125	14,563	18名
3月	352,815	19,601	18名
	4,198,375	19,619	17.8人（平均）

平成29年度目標工賃（就労B型）	15,900円
平成29年度工賃実績（就労B型）	19,619円（平均工賃）
平成28年度工賃実績（就労B型）	15,722円（平均工賃）

本年度平均工賃は、大幅アップが実現でき全国や熊本県の平均工賃をも上回ることが出来ている。

珈琲事業

・ ドンゴロス

引き続き作業場の整理整頓を徹底し、作業効率の向上に努め、無駄な時間が減るよう器具・材料の保管場所を明確にして作業の時間短縮に繋げた。無駄なく材料を使いコストの削減に努めながらクオリティの高い製品づくりを心がけた。また少しずつではあるが、できなかった工程ができるようになり、作業能力が上がってきている。

製品については、従来の商品に加え、ティシュカバーや、帽子等の新たなドンゴロス製品の考案や製作にも力を入れた。より手頃な価格で商品提供し、さらには親しみやすいドンゴロス商品の提供へとつなげた。

・ 珈琲製造

ワンドリップの需要が高まり、それに伴い生産数も上昇した。販売目的に応じた珈琲の製造・包装を中心にニーズに合った商品の提供が展開できた。一方、味に安定性が無く改善へのクレームがあった為、焙煎方法の再確認や改善、衛生面の徹底等をきちんと管理しながら製造を行った。

・ 販売

委託販売店舗においては、売れ行きに較差が見られたため、定期的な訪問や商品の入れ替え・ドンゴロス製品のアイテムを増やし売上の増加につなげていった。また、新規店舗の拡張を行うことで店舗販売の売上の増加につなげることが出来た。

販売会では、アイテム数を増やすことで、店舗同様売り上げ増に繋がっている。ブラックベリージャムの販売実績も例年同様に伸びているが、原料の収穫が不足傾向であった。

また、通年して売上にムラが出ないよう季節ごとのギフトのPRや、夏季限定のアイスリキッド珈琲の製造・販売も展開した。

H29年度販売会参加一覧

イベント名	期日	場所	売上額（円）
ほっとはーとマーケット	4月23日	びぶれす広場	21,800
小国福祉夏祭り	8月5日	JA阿蘇小国郷集出荷場	124,260
なでしこの里納涼祭	8月25日	なでしこの里	22,200
くんわの里夏祭り	9月2日	くんわの里	145,051
JA阿蘇農畜産物販売会	10月7日	びぶれす広場	13,350
地球フェスタ販売会	10月15日	阿蘇市体育館	5,450
県庁商談会	1月16日	熊本県庁地下大会議室	17,000
計			349,111

加工事業

・製函作業

陣太鼓のセット8用箱折り作業を行った。作業時の不良削減や異物混入の防止を目指し(株)お菓子の香梅様と密に連携をとりながら取り組みを行った。納期が一目でわかる様に掲示板を設置した。また、生産速度が上がるよう利用者様の得意な工程などを聞き取り、工程の見直しを行い生産速度の強化を行った。

・本田技研工業委託作業

PPバンド・フェルトカット・デリカバーの生産を行った。PPバンド・フェルトカットは昨年に比べ生産が下がる時期にも生産が増えた為、工程ラインの見直しを行った。生産ラインを1ラインから2ラインで流せるよう利用者へのスキルアップを図り実現できている。また、PPバンドの長さの違い混入があった為、不良率低下を目標におき、PPバンドではカットの長さの間違いや本数の間違い・納品の準備間違いなどといった初歩的ミスがないよう完成品を入れる場所、完成品の明示、不良品を入れる場所など各品ごとに用意した。納品間違いが無いように毎日納品する製品は必ずチェックリストでチェックシトラックに積むよう行った。単発の仕事も増えている為、生産速度が速くなるよう正確な作業を迫行できるように支援を行った。

また、単発の仕事等が成果として、毎月の生産となるように単価等の交渉も行っている。

生産事業

・派遣実習

現在16件の派遣先と取引がある。お客様のニーズに応えることで売上を伸ばしている。利用者のスキルアップを行い、派遣の種類・人数などで取引先の要望に応えることができている。

・ブラックベリー栽培

肥料不足の影響からか前年より、実りが少なく収穫量が少なかった。収穫後、きちんと手入れを行い来年へ向けての準備を行った。

・神楽苑トイレ清掃

元旦を除く364日、職員・利用者ローテーションを組み清掃を行う。お客様に気持ちよく施設を使っていたく為、細部まで丁寧に清掃を行った。大きなクレームや事故も無く安全に業務を進めることが出来た。

(2) 課題・次年度への提起

次年度も工賃向上計画に基づき、工賃アップを図っていくため、各部門が生産性やコストを意識し取り組んでいかなければならない。珈琲事業は、さらなる展開を行い売り上げを伸ばし、加工・生産事業においては、取引関係先と密に連携をとりながら売り上げの向上を目指していく。部門ごとに生産を伸ばすことにより、通年安定した作業を行うことができる。また、利用者の声（ニーズ）をしっかりと聞き取り、利用者が安心して心地よく作業や生活が送れるよう、事業所全体で支援に取り組んでいく。

2 防災・防火訓練報告

- ・緊急時における防災対策の意識向上に努めた。
- ・集会等での意識向上
- ・防災マップの策定
- ・避難通路の確保
- ・消火設備の点検
- ・機械等の定期点検及び使用前点検の義務
- ・休憩室等のたばこの後始末についての指導・支援
- ・退勤時の点検
- ・防災訓練を2回実施